

8月号

第450号

いっしん

令和4年(2022年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPの写真はカラーで見れます》

雨にぬれ
日に照らされて
草木にも
花咲きにけり
実も結びけり
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

立教163年／教祖様139年／教団独立122年／小倉教会布教137年／
甘木親教会布教118年／加治木教会布教71年(来年2月26日、矢野政美大人25年祭)



教祖様ご在世中、御本部のご建築は願いを持つ人がありましたが、成りませんでした。教祖様は「神は憂いの金では宮は建てない。喜びの金で宮を建てる。」と、氏子に寄進勸化をさせて痛めでは神様の思召しに添わないこととを説かれ続けられました。

明治40年、桂松平先生はじめ出社の先生方で、木曾山中に御用材の伐採搬出に赴かれました。矢野クラ刀自は、当時喜びの真心でご夫婦で相談され経済の上の御用に尽くされたようすが『私のいたく安武松太郎師』(矢野政美著)に記されています。

甘木親教会

七月十七日(日)

祈願祭 仕えられる

明治三十九年の正月に、九州開道の祖、桂松平先生が次のような「祈願詞」を著わされ、願いを立てられました。

「私、松平を始め九州の教師信徒にいたるまで、多年広大なおかげをこうおつておりますので、その万分の一でもお報い申し上げたいと思い、松平大発起人となり、ご建築のご用材献納のみかげを頂きたいと存じます。と申しましても積立金があるわけではございません。飛ぶ鳥も翼がなくては空を舞うことができません。何とぞ、この福岡県下をはじめ九州一円に農作物をはじめ、諸事大繁盛のおかげをお授けくださいませ。それも、今月ただ今からとは申しません。来る本年五月一日から向こう四年の間、特別繁盛のおかげをお授けくださいませ。」

という内容が祈願され、この「祈願詞」が発端となつて九州では、祈願祭が仕えられることとなり、寄進勸化のない真心で大教会所のご建築が成りました。

(ご教話は次ページより)

甘木親教会 祈願祭…P1
少年少女会 「七夕」…P5～6

甘木親教会 祈願祭ご教話…P2～4
教会行事…P6

甘木親教会
七月十七日(日)
祈願祭教話



千種敏行先生(二日市教会長)

《教話 要点のみ》

祈願祭の意味合い、九州開道の祖
桂松平先生が明治三十九年に発願さ
れた「祈願詞」のことなどのお話し
の後、次のようなお話をされました。

祈願祭では、一人一人が、私どもの本にある願いをどう頂いて、自分の中でどう生かしておるか、もっと言えば神様に対して「有り難い神様だな」と思うことができているかどうかが問題であります・・・。

☆

二代の親先生は、金光教学院在学中にお母様を亡くされました。

私は、高校三年生の時に亡くしました。母は、厳しい父とは違い優しく、もっと長生きをして欲しいと思っていました。

その頃私は、ほんとに「神も仏もあるものか」という思いでした。

二代の親先生は、お母様を亡くされたことについて(『取次』生年)、学院卒業後、軍隊に行かれ、復員後の昭和二十一年二月の若い教師の集まりの

時に、初代が教話で『親神様は氏子のためにならないことは絶対になさらん』とみ教えされ、二代の親先生は思わす「ためにならんことは絶対になさらんのならば、母ぐらい生かしておられても良さそうなものに」と思われたとのことでした。

しかし、さらに教話が進んだところで初代は、

『起きて来たすべての事柄は親神様が氏子のためにお取り計らいくださった、ギリギリの結果』

とみ教えされ、そこで初めて二代の親先生は、

「私はハッと思いました、ギリギリとは何か、それはまさに私の信心、氏子の信心、徳ということになる『氏子に徳がなければ難の消しようがない』と教えられている、母が亡くなった時に「神様の思召しはわからないのだ」と自分なりに納得していたけれども、体(てい)のいい諦めだったが、このお道の信心から言うところじゃない、これはどうも私の信心というものが間違っておった」と思われておられます。

初代は、できて来るその事柄の中

に、実は親神様の申し召しがあり、神様の側からの見られ方のあることをお話しされたのです。

それは、初代のご信心で、常に神様に喜んでいただきたく、神様の働き・み思い、それがいったいどこにあるのかということに常に求めておられたからこそ出て来るお言葉だと思います。

二代の親先生は、
「氏子のためにお取り計りの上、最善の方法をお取りくださった結果なんだ、そして自分自身にもっともつと行き届いた親神様のみ心になう信心があったなら、親神様はまだまだ、お計りのなさりようがおりになつたのに」
と思われたわけです。

まさに、親神様の側から見られた頂き方となられたのだと思います。

私達は、どうしても自分の物差し尺度で物事を見ますが、神様の側から見る見方ができて行くと、信心が広がり強くなり「一段一段力のある根強い信心」(『安武松太郎 教務』(2007年参照される))にならせていただくことができるのです。

☆



千種敏行先生(二日市教会長)
少年少女会研修所が牧園町「仙寿の里温泉」で平成20年に開催され訪れた折の写真。現在北九州教区教務センター所長。

今、コロナ禍の中で御用が縮小し私方の教会でも厳しい状況ではあります。御用は少なくなり楽をしがちです。

そのような時こそ、私どもは、今までの信心がこれで良かったのかどうか、果たして今まで頂いたおかげはいったいなんだったんだらうかと、自分自身を振り返ることが要ると思います。これは誰にでもできると思います。

私自身のことですが、高校生の時に、電車通学中にホームで友達とふざけておった時に学生帽が飛び、その瞬間急行列車がパージと通り過ぎ、帽子は当然電車に巻き込まれてしまい、私は「助かった」思いました。

その付近を見渡しても帽子は見つからず、そのまま帰宅し父に話すと父は厳しく「今すぐ探して来い」と理不尽に言い、私が言い訳をしますと、母が「私が一緒に行くから探しに行こう」と言ってくれ、再び電車に乗って探しに行きました。

そうして、母親に促されて線路上に降りて線路の脇道をずっと電車が通って行った方に歩いて行くと、あるところか帽子がありました。

帽子は上の部分が破れていました。が修理をすれば使える状態でした。教会に帰り父にその帽子を渡しますと、父はその帽子を押し頂くようにして、ご神前に持って行き御祈念をしました。

父の「今すぐ探して来い」と言った言葉の意味が、その時はわかりませんでした。が、私はだんだん年を重ねるにつれて、私なりに思いが変わってくるのです。

今だから思わせていただきますが、父からすれば「先に神様があらわれ、神様が息子の命を救ってくださった、本当に有り難い」と神様にお礼を申したのだらうと思います。

その事柄の中には、神様の何かのお働きがあったのではないか、まさに氏子にわかってほしいという「ギリギリの結果」として示してくださってあったのではないかと思うのです。

神様が私の命を見守って育ててくださってあったのであり、神様であればこそ、その時々私の命の繋がりの中で、み思いを注いで下さってあったのだと思います。

神様の見られ方の方を向いて信心の歩みを進めて行くのが、今教団で進められている「神人物語を編む」ということでありましょう。（おわり）

安武道義親先生は、「ご祭典後」教祖様は『神の中を分けて通りおるようなもの』と仰せられてあります。私どもは大変有り難いおかげ・お働きの中を生かされています。そういう有り難いおかげばかり頂いて報いることができていないと思わせていただきます。」とご挨拶されました。

加治木教会 祈願祭

仕えられる
七月二十四日



多良木教会長
梅木博光先生

九州全域が早めの梅雨明けを迎え、水不足が心配される地方もありましたが、お湿りや台風が続く日本列島全体が潤う七月となりました。

そのような中、九州南部からコロナウィルス感染症が増えだし、全国的な第七波が訪れることとなりました。重症化する人は減ってきましたが、油断のない感染対策に心がけながら、加治木教会の祈願祭が仕えられました。

ご教話、梅木博光先生（多良木教会長）で、尊く有り難いお話しでした。



少年少女会

「七夕」

7月30日(土) 10時半より、

少年少女会が開かれました。

鹿児島県下では、六月から

七月にかけて、新型コロナの感

染者が急にふえましたので、

第75回 少年少女全国大会参

拜と「夏のつどい」が、残念

ながら中止となりました。

そのため、新型コロナの感

染の終息を祈り少年少女会

「七夕」だけは開くことにし

まし、たんざくに、たくさん

の大きな祈りをこめさせて
いただきました！



たなばたかざりの張り子のスイカ、マンゴー、ヨウナシをしあげました！



開会儀礼



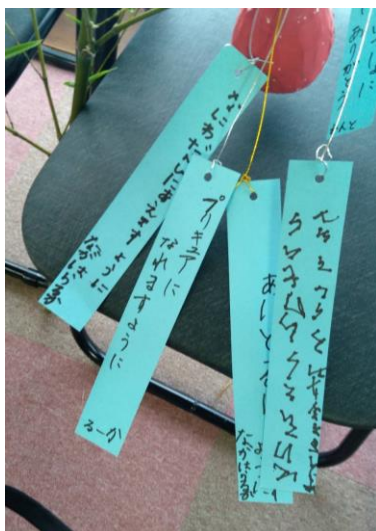
紙芝居「たなばたものがたり」



おいしそうな張り子のスイカ



みんなそれぞれ、たんざくにいのりをこめて、たなばたかざりができました。



張り子のマンゴーに色塗り
は こ いろ め



いろんなフーセンを、かざりに！あそびに！



いろんな飾りができました！
かざ

感 詠 (教会長)

台風の雨運びきて水不足
補いたるを礼び申しぬ

梅雨明けてよく育ちゆく千日紅
暑さの恵み驚きおりぬ

夏らしい気候となりて知らぬ間に
稲も野菜もよく育ちおり

七夕の飾り作りて短冊に
すなおな祈り込める若葉よ

夏休み子供のころの最高の
想いで作る季節なりけり

クワガタやカブトムシたち宝石と
言いたることをさにありなんと

いずこにぞ天の川ある薄れたる
裸眼駆使して夜空見上げる

目の薄れ現れるほど長生きの
尊きみかげ蒙りてあり

あしあと

加治木教会行事記録

- 7月
- 1(金)●報徳月例祭 10時半
 - 7(木)清掃御用 10時
 - 8(金)●月例祭 10時半
 - 10(日)東郷教会 津上繁子姫五年祭
 - 17(日)●甘木親教会 祈願祭
 - 21(木)清掃御用 10時
 - 22(金)●月例祭・共励会 13時半
 - 23(土)清掃御用 10時半
 - 24(日)加治木教会 祈願祭 11時
 - 30(土)少年少女会 10時半
 - 31(日)清掃御用 10時



八月のご霊神様のおまじ

信國禮子之霊神	昭和20・08・03
庄村一郎之霊神	昭和19・08・04
中島シマ之霊神	昭和25・08・06
汰木絹子之霊神	平成28・08・06
西本ハナ子之霊神	平成11・08・07
平島卓也霊神	平成17・08・08
桐野日満子之霊神	令和2・08・08
中村宗吉之霊神	大正11・08・10
松田伊助之霊神	明治36・08・13
岡元スミ子之霊神	平成18・08・14
大重 久之霊神	昭和41・08・18
庄村政雄之霊神	昭和13・08・21
星原隆彦之霊神	昭和55・08・22
星原阿称子之霊神	平成16・08・26
上田ハル之霊神	平成16・08・26
福元チヨ之霊神	昭和28・08・28
小坂篤夫之霊神	昭和58・08・28
柳園ハナ之霊神	平成15・08・29
中村愛加之霊神	平成03・08・
檜原ヤオ之霊神	昭和40・08・30
向江ナツエ之霊神	平成24・08・31

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんして
お礼を申し上げよう。
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の
奉てんを準備しています。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を
申し上げます。教会では、十日の月例祭で、ご霊前
での玉串の奉てんを準備しています。」

隣接関係教会 祈願祭

多良木教会 八月七日(日) 11:00

全国信徒会、合同取組みの

信行取組表に

取り組ませていただきました。よう。



第74回

少年少女全国大会は、著しい
コロナウィルス感染拡大のため
参拝を見合わせています。

連合会行事中止のお知らせ

(コロナウィルス感染拡大のため)

八月二十八日(日)開催予定でした、
夏のつどいは、中止となりました。

九月四日(日)開催予定でした、
女性の集いは、中止となりました。

教会行事

8月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 6 (土) 7 (日) 少年少女全国大会
- 【※全国大会参拝は見合わせています。】
- 7 (日) 多良木教会祈願祭 11時
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (水) ●月例祭(生神金光 併せて 10時半)
- 19 (金) 20 (土) 甘木親教会婦人教師会
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭(天地金 共励会 13時半)
- 28 (日) 連夏(乃神様)のつどい《中止》
- 31 (水) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただくよう。

9月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (日) 連女性のつどい《中止》
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(生神金光 併せて 10時半)
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭(天地金 併せて 10時半)
- 23 (祝) ●秋季霊祭 10時半
- 25 (日) 連青年のひろば
- 30 (金) 清掃御用 10時
- 1 (土) 2 (日) 10月
- 4 (火) ●報徳月例祭 10時半



百日草(ジニア)